

J A P R S 認定
平成 27 年度

サウンドレコーディング技術認定試験 問題

1. 試験時間は、10:00～11:30（90分）です。
2. 解答は、次の表に従って記入してください。

ブロック番号	問題数
I	1～25
II	1～25
III	1～25
IV	1～25

選択方法	全問必須
------	------

3. 答案用紙の記入に当たっては、次の指示に従ってください。指示に従わない場合には、採点されません。
- (1) 答案用紙にはすでに受験者の受験番号、名前、性別、生年月日、会場名が記載されています。念のためご確認ください。
- (2) 解答は、答案用紙の注意事項を参照し、答案用紙の所定の欄に各問題一つだけマークしてください。

指示があるまで開いてはいけません。

問題に関する質問にはお答えできません。

I

問題 1～2 次の文の（ ）の部分に該当する適切な語句を1つ選び、番号で答えなさい。

人間の耳の構造は、外耳・中耳・(1) の3部分に分けられる。外耳は、耳介と外耳道からなり、(2) が中耳との境にある。

- | | | |
|-----|------------|--------|
| (1) | 1 : 聴耳 | 2 : 聞耳 |
| | 3 : 内耳 | 4 : 拡耳 |
| (2) | 1 : ライスネル膜 | 2 : 蓋膜 |
| | 3 : 振動膜 | 4 : 鼓膜 |

問題 3～4 次の文の（ ）の部分に該当する適切な語句を1つ選び、番号で答えなさい。

音圧とは、媒質中の音波によって生じる媒質内の圧力で、音圧レベルは、(3) で表される。音は空気の圧力の変化であり、聴覚で聴くことができる最小音圧は(4) とされていることから、これを0 dB として“音圧レベル” (SPL : Sound Pressure Level) と呼んでいる。

- | | | | | |
|-----|-----------------|-----------------|------------------|-----------|
| (3) | 1 : ワット | 2 : アンペア | 3 : ルクス | 4 : デシベル |
| (4) | 1 : 10 μ Pa | 2 : 20 μ Pa | 3 : 100 μ Pa | 4 : 20 Pa |

問題 5～6 次の文の（ ）の部分に該当する適切な語句を1つ選び、番号で答えなさい。

音の高さを洋楽ではド・レ・ミ・ファ・ソ・ラ・シ・ドの(5) で表すが、音響学や電気工学では“周波数 (Hz)” で表している。

周波数の単位は、昔は(6) という単位が使われていたが、1964 年から国際的に“Hz” (ヘルツ) が採用されるようになった。

- | | | |
|-----|-----------|----------|
| (5) | 1 : 音低 | 2 : 音高 |
| | 3 : 音程 | 4 : 音階 |
| (6) | 1 : ニュートン | 2 : ポンド |
| | 3 : サイクル | 4 : サイマル |

問題 7～8 次の文の () の部分に該当する適切な語句を 1 つ選び、番号で答えなさい。

正弦波を入力した場合、入力レベルをだんだんと高くし、最大入力レベル以上では波形が潰れ、だんだん (7) と呼ばれている四角の波形に近づいてくる。

歪率とは、歪成分である高調波の実行値と基本波の実行値と歪との比を%で表示したものである。聴覚的には、(8) 程度の歪から歪として感じるようになる。

- (7) 1 : 三角波 2 : 矩形波 3 : 正弦波 4 : 余弦波
(8) 1 : 3% 2 : 10% 3 : 20% 4 : 30%

問題 9～10 次の文の () の部分に該当する適切な語句を 1 つ選び、番号で答えなさい。

現在、スタジオや放送局などでプログラムのレベル監視用として、ピーク値を指示するピークメータと音量指示を目的とした VU メータが使用されている。

VU メータは、(9) の略で、米国のベル研究所と CBS によって聴感的な音量を指示するメータとして開発されたもので、応答速度は 300msec と規定されている。

一方、ピークメータの応答速度はおよそ (10) でプログラムのピーク値を表示することを目的とし、メータの戻りはゆっくりとした動作になっている。

- (9) 1 : Voltage Universe 2 : Voltage Unit
 3 : Volume Universe 4 : Volume Unit
(10) 1 : 10msec 2 : 30msec
 3 : 300msec 4 : 3 sec

問題 11～12 次の文の () の部分に該当する適切な語句を 1 つ選び、番号で答えなさい。

我々が演奏会場で感ずる臨場感は、演奏者の (11) がわかる“定位感”と、ホール全体に拡がる音響空間から感じられる残響や広さといった音場の“拡がり感”による総合認識であると考えられている。

両耳効果の方向定位に関する知覚は、ミキシング上では、レベル差が“定位感”を、(12) が“拡がり感”を支配していると考えられる。

- (11) 1 : 方向・位置 2 : 方角
 3 : 音量 4 : 音程
(12) 1 : 音量差・音速差 2 : 時間差・位相差
 3 : 音速差・面積差 4 : 材料差・料金差

問題 13～14 次の文の () の部分に該当する適切な語句を1つ選び、番号で答えなさい。

音波が伝搬する速度を音速と呼び、これは空気など音波を伝える媒質によって決まり、空気中では $c = (13) + 0.61 t$ で与えられることがわかっている。ここに、 t は摂氏である。例えば 15 度で約 (14) である。

- | | | |
|------|-------------------|-------------------|
| (13) | 1 : 131.5 [m/sec] | 2 : 231.5 [m/sec] |
| | 3 : 331.5 [m/sec] | 4 : 431.5 [m/sec] |
| (14) | 1 : 240 [m/sec] | 2 : 340 [m/sec] |
| | 3 : 440 [m/sec] | 4 : 540 [m/sec] |

問題 15～16 次の文の () の部分に該当する適切な語句を1つ選び、番号で答えなさい。

音に関する物理量を、電気信号と対応させることもよく行われる。この関係の中では、音圧は (15) に、また粒子速度は (16) に、それぞれ対応させて考えることが多い。両者を掛けた音圧×粒子速度は音の強さであり、それぞれ電気的なインピーダンス、電力に対応して説明されることがある。

- | | | | | |
|------|--------|--------|--------|-----------|
| (15) | 1 : 電圧 | 2 : 電流 | 3 : 電波 | 4 : ダイオード |
| (16) | 1 : 電圧 | 2 : 電流 | 3 : 電波 | 4 : ダイオード |

問題 17～18 次の文の () の部分に該当する適切な語句を1つ選び、番号で答えなさい。

音の大きさのレベルによって、任意の音の大きさを数量的に取り扱うことができ、(17) が実験的に求められた。これは数値が2倍になれば2倍大きく聴こえるような尺度である。まず、音の大きさの単位は sone で表すものとし、音圧レベル 40dB の (18) の純音の大きさを 1 sone と定義する。

- | | | |
|------|-----------|-------------|
| (17) | 1 : デシベル | 2 : オーディエンス |
| | 3 : ラウドネス | 4 : サラウンド |
| (18) | 1 : 20Hz | 2 : 100Hz |
| | 3 : 200Hz | 4 : 1 kHz |

問題 19～20 次の文の () の部分に該当する適切な語句を1つ選び、番号で答えなさい。

コンデンサは直流を通さないという性質から、同じ値のコンデンサでは周波数が(19)ほど良く通し、一定の周波数に対してはコンデンサの値が大きいほど良く通す。

コイルは交流を通さないという性質から、オーディオでは(20)回路に用いられるが、抵抗やコンデンサと比較すると高級なオーディオ用途品が少ないため、現在ではスピーカのネットワーク以外ではあまり使用されない。オペアンプ応用回路により、コイルを必要としない共振回路が発達したことも使用されなくなった要因である。

- (19) 1 : 高い 2 : 低い 3 : 0 Hz 4 : 中間
(20) 1 : 増幅 2 : フェーダ 3 : フィルタ 4 : 変圧

問題 21～22 次の文の () の部分に該当する適切な語句を1つ選び、番号で答えなさい。

現在のコンピュータでは2値のデータを8個(8bit/ビット)まとめたものを(21)と呼び、基本的な処理の単位としている。これは8桁の2進数で、0から(22)までの整数を表現できる。

- (21) 1 : 0バイト 2 : 1バイト 3 : 4バイト 4 : 10バイト
(22) 1 : 4 2 : 16 3 : 128 4 : 255

問題 23 $3\ \Omega$ の抵抗に2 A流れたら電圧は何Vになるか、番号で答えなさい。

- 1 : 0.7V 2 : 1.5V 3 : 5V 4 : 6V

問題 24 $100\ \Omega$ の抵抗を2本直列につなぐと合成抵抗は何 Ω か、番号で答えなさい。

- 1 : $50\ \Omega$ 2 : $150\ \Omega$ 3 : $200\ \Omega$ 4 : $300\ \Omega$

問題 25 $100\ \mu\text{F}$ のコンデンサと $300\ \mu\text{F}$ のコンデンサを並列につなぐと合成容量はいくらか、番号で答えなさい。

- 1 : $75\ \mu\text{F}$ 2 : $200\ \mu\text{F}$ 3 : $300\ \mu\text{F}$ 4 : $400\ \mu\text{F}$

II

問題 1～2 次の文の（ ）の部分に該当する適切な語句を 1 つ選び、番号で答えなさい。

コントロールルームのスピーカの設置方法は、初期の頃は周辺の音響内装の影響が少なく、自由度が高い（1）のスタイルが多かった。

しかし、ドラムやベース等の低音域の再生能力が求められてくると、スピーカを反射壁面に（2）してバッフル効果を狙い、低音域のパワーを補強する音場設計手法が行われた。

- | | | |
|-----|------------|--------------|
| (1) | 1 : 床置き | 2 : コロガシ |
| | 3 : 台置き | 4 : 宙吊り |
| (2) | 1 : ピットイン | 2 : アンインストール |
| | 3 : アンマウント | 4 : ビルトイン |

問題 3～4 次の文の（ ）の部分に該当する適切な語句を 1 つ選び、番号で答えなさい。

振動しにくい物体は音を伝えにくく、言い換えれば（3）ほど遮音能力は高くなる。より大きな遮音性能を得るためには、2つの壁を（4）ことによって遮音性能を足し合わせることも可能になる。

- | | | |
|-----|------------|---------------|
| (3) | 1 : よく響く材質 | 2 : 大きな音が出る材料 |
| | 3 : 軽い材料 | 4 : 質量のある材料 |
| (4) | 1 : 三角にする | 2 : 直角にする |
| | 3 : 十分に離す | 4 : 十分に接する |

問題 5～6 次の文の（ ）の部分に該当する適切な語句を 1 つ選び、番号で答えなさい。

音響内装の吸音材には、一般に不燃材である（5）が使用される。通常、吸音面はクロス仕上げとして、その背後空間を利用して吸音処理を行い、ねらい通りの響きが得られるように調整する。また、吸音面の上に木製のリブ等を配置して、高音域における音の（6）も行う。

- | | | |
|-----|-----------|------------|
| (5) | 1 : 空気 | 2 : 水 |
| | 3 : 石膏ボード | 4 : グラスウール |
| (6) | 1 : 拡声 | 2 : 録音 |
| | 3 : 吸音処理 | 4 : 拡散処理 |

問題 7～8 次の文の () の部分に該当する適切な語句を 1 つ選び、番号で答えなさい。

リボンマイクは、一般的に形状が大きく重いものが多い。その理由は、大きな磁石を内蔵し、強力な (7) を形成する必要があるからである。その中に薄いリボン状の金属箔を吊り下げ、空気の疎密波が届くと疎密波の圧力でリボンが動き、この (8) をトランスで昇圧して出力する。

- (7) 1 : 電圧 2 : 磁界 3 : 静電気 4 : 電流
(8) 1 : 音圧 2 : 磁石 3 : 起電力 4 : キャパシター

問題 9～10 次の文の () の部分に該当する適切な語句を 1 つ選び、番号で答えなさい。

コンデンサーマイクは、構造上 (9) に弱いのでウインドスクリーンの使用は屋外での収録などに有効である。

ポップスクリーンは、主にヴォーカルの収録の時、収録するコンデンサーマイクの前に取り付ける。材質は、ナイロン製のストッキングのような布を張って使用する。最近では金属の (10) を使用したスクリーンなども発売されている。

- (9) 1 : 吸音 2 : 反射 3 : 弱音楽器 4 : 吹かれ
(10) 1 : メッシュ 2 : ベルト 3 : おもり 4 : 金箔

問題 11～12 次の文の () の部分に該当する適切な語句を 1 つ選び、番号で答えなさい。

一般向けのオーディオ製品に広く使われているコンデンサーマイクは、(11) に電圧をかける必要のないタイプで、これをエレクトレット・コンデンサーマイクと呼んでいる。エレクトレット・コンデンサーマイクは、いずれもダイナミックマイクに比べて構造的に (12) がしやすく、原理的に平坦な特性が得やすいのが大きな特徴である。

- (11) 1 : 電局 2 : 電極 3 : 電話局 4 : 電報局
(12) 1 : 大型化 2 : 大局化 3 : 小型化 4 : 小局化

問題 13～14 次の文の () の部分に該当する適切な語句を 1 つ選び、番号で答えなさい。

ミキシングコンソールのモジュールに入力された時点では各楽器のレベルはまちまちで、(13) によって初めて基準のレベルになる。インサートセンドの基準レベルはコンソールの種類やメーカーにより異なり、(14) が主に採用されている基準レベルである。

- (13) 1 : ヘッドアンプ 2 : コンデンサ
 3 : コンプレッサ 4 : イコライザ
(14) 1 : -60dBu 2 : -40dBu
 3 : 0 dBu または +4 dBu 4 : +20dBu または +26dBu

問題 15～16 次の文の () の部分に該当する適切な語句を1つ選び、番号で答えなさい。

ミキシングコンソールの AUX センドは、AUX または (15) という名称で6～8系統装備されている。標準でステレオ送りを持つものもあれば、任意の奇数/偶数でステレオカップリングできるタイプもある。基本的には全ての系統に (16) の切り換えおよび送りのオン/オフがある。

- | | | |
|------|----------------|----------------|
| (15) | 1 : Talk Back | 2 : Oscillator |
| | 3 : CUE | 4 : Slate |
| (16) | 1 : Front/Back | 2 : PRE/POST |
| | 3 : Left/Right | 4 : Up/Down |

問題 17～18 次の文の () の部分に該当する適切な語句を1つ選び、番号で答えなさい。

ミックスダウンされたソースを放送で使用したり、A/D コンバータを通してデジタル機器に接続する場合、ピーク成分が大きいと平均レベルが下がり S/N を悪化させたり、オーバーレベルで (17) を生じたりする。これを防ぐために (18) を使用する。

- | | | |
|------|----------|------------|
| (17) | 1 : ダビング | 2 : ハイビット化 |
| | 3 : 歪み | 4 : 高価格化 |
| (18) | 1 : ゲート | 2 : リミッタ |
| | 3 : EQ | 4 : エキスパンダ |

問題 19～20 次の文の () の部分に該当する適切な語句を1つ選び、番号で答えなさい。

エキスパンダは (19) の動作を応用し、コンプレッサと逆の動作をする。スレッショルド以下の信号に対して出力を (20) する。このことで音の立ち上がりを鋭くして、メリハリのある音にすることができる。

- | | | | | |
|------|---------|---------|---------|---------|
| (19) | 1 : ゲーマ | 2 : ゲーテ | 3 : ゲート | 4 : ゲーム |
| (20) | 1 : 大きく | 2 : 小さく | 3 : 太く | 4 : 細く |

問題 21 可聴帯域をオクターブ間隔、または 1/3 オクターブ間隔で分割し、その帯域のレベルを変化させることができるイコライザを何というか、番号で答えなさい。

- | | | | |
|-----|--------------|-----|-------------|
| 1 : | ローパスフィルタ | 2 : | グラフィックイコライザ |
| 3 : | パラメトリックイコライザ | 4 : | シェルビングイコライザ |

問題 22 ダイナミックスピーカはダイナミックマイクとしても使えるがその理由はどれか、番号で答えなさい。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 : 音を捕まえやすい形状だから。 | 2 : 空気とのマッチングが良いから。 |
| 3 : 振動板の材料が同じだから。 | 4 : 構造が同じだから。 |

問題 23 複合型スピーカの場合、各周波数帯域に音信号を分割する必要がある。その分割の切れ目の周波数を何というか、番号で答えなさい。

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 : ハイパス周波数 | 2 : バンドパス周波数 |
| 3 : クロスオーバー周波数 | 4 : ローパス周波数 |

問題 24 抵抗のカラーコードは左の2つが数値を表し、左から3つめが乗数を表す時、ある抵抗のカラー表示が、左から赤・白・橙の場合、何 Ω の抵抗か、番号で答えなさい。

- | | | | |
|------------------|--------------------|---------------------|----------------------|
| 1 : 120 Ω | 2 : 6,800 Ω | 3 : 29,000 Ω | 4 : 540,000 Ω |
|------------------|--------------------|---------------------|----------------------|

問題 25 PCM とは何の略か、番号で答えなさい。

- | | |
|-----------------------------|------------------------------|
| 1 : Pulse Code Modulation | 2 : Phase Control Modulation |
| 3 : Presser Control Monitor | 4 : Pulse Control Modulation |

Ⅲ

問題 1～2 次の文の（ ）の部分に該当する適切な語句を1つ選び、番号で答えなさい。

ステレオの收音方式のペアマイクによる（1）收音方式は、演奏自体が音楽的にバランスが取れているクラシック音楽の收音に適した收音方式である。一方、（2）收音方式は、ミキシングによるバランス創りと音色形成が前提となるジャズ、ポップス、ロック、J-POPなどの收音に適した收音方式である。

- | | | | | |
|-----|-----|---------|-----|--------|
| (1) | 1 : | ワンポイント | 2 : | ワンボックス |
| | 3 : | マルチボックス | 4 : | マルチマイク |
| (2) | 1 : | ワンポイント | 2 : | ワンボックス |
| | 3 : | マルチボックス | 4 : | マルチマイク |

問題 3～4 次の文の（ ）の部分に該当する適切な語句を1つ選び、番号で答えなさい。

クラシックのホール録音では、メインマイクでオケ全体を録り、これにアンビエンスマイクを加えて（3）を補正する。

アンビエンスマイクはホール全体の音を收音する必要があるので（4）が使われている。

- | | | | | |
|-----|-----|-----------|-----|----------|
| (3) | 1 : | 位相 | 2 : | EQ |
| | 3 : | ダイナミックス | 4 : | 残響感 |
| (4) | 1 : | 無指向性 | 2 : | 超指向性 |
| | 3 : | ダイナミックマイク | 4 : | ワイヤレスマイク |

問題 5～6 次の文の（ ）の部分に該当する適切な語句を1つ選び、番号で答えなさい。

マルチマイク收音方式は、現在の主流である Pro Tools および MTR によるマルチマイクの利点を活かした收音方式である。この收音方式のメリットは、

- 1) 楽器間のバランスをエンジニアの感性によってミキシングすることができる。
- 2) ミキシングによってオーケストレーションがしやすくなり（5）のクローズアップも可能である。
- 3) 音楽表現が多様化した。

などが挙げられる。一方、欠点として、

- 1) 音場が（6）になりやすい。
- 2) 人工臭さが否めない。
- 3) Pro Tools・MTR の音質に作用される。

などが挙げられる。

- | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|------|
| (5) | 1 : | 電流 | 2 : | 電話 | 3 : | 強音楽器 | 4 : | 弱音楽器 |
| (6) | 1 : | 球面的 | 2 : | 平面的 | 3 : | 立体的 | 4 : | 螺旋的 |

問題7～8 次の文の（ ）の部分に該当する適切な語句を1つ選び、番号で答えなさい。

一発録りの苦勞は、(7)の導入をもたらし、そしてアナログからデジタルレコーダへと進化していった。

4トラックレコーダの出現で、2トラックレコーダ同士の(8)作業はなくなり、4トラックレコーダのまず2トラックを使用してカラオケを録音し、残りの2トラックにコーラスやヴォーカルを録音するという手法がとられるようになった。

- | | | | | |
|-----|----------|----------|----------|---------|
| (7) | 1 : PC | 2 : USB | 3 : SATA | 4 : MTR |
| (8) | 1 : イレース | 2 : ダビング | 3 : VCA | 4 : DAW |

問題9～10 次の文の（ ）の部分に該当する適切な語句を1つ選び、番号で答えなさい。

木管セクションは Fl、Ob、Cl、(9)が各2名いる場合、各楽器ごとに計4本のマイクをセットする。

サクソも、A.Sax が2人、T.Sax が 2人、(10) が1人の計5人でセクションを組むことが多い。この場合セクション内でバランスがとれていることが多いので、ペアマイクのオフマイクでも収録できるが、一般的にはセクションに計3本のマイクをセットする。

- | | | | | |
|------|---------|---------|-----------|--------|
| (9) | 1 : Trp | 2 : Vc | 3 : Vo | 4 : Fg |
| (10) | 1 : Vib | 2 : Vla | 3 : B.Sax | 4 : CB |

問題11～12 次の文の（ ）の部分に該当する適切な語句を1つ選び、番号で答えなさい。

低音楽器は中央に定位させることで音圧感、(11)、安定感が出る。各楽器は、左右チャンネルが(12)、左右バランス良く聴こえるようサウンドステージ上に定位を配分し、常に安定した定位感でパンを決めることが大切である。

- | | | |
|------|---------------|------------|
| (11) | 1 : 広がり感 | 2 : 奥行き感 |
| | 3 : さわやか感 | 4 : 重量感 |
| (12) | 1 : 一方に偏ることなく | 2 : 逆相で |
| | 3 : 一方に偏った | 4 : 違ったように |

問題 19～20 次の文の（ ）の部分に該当する適当な語句を1つ選び、番号で答えなさい。

オーディオ CD は、オーディオ・データをはさんだ、ノンオーディオのデータを8チャンネル保有し、P～Wまでに分けられ、中でも(19)というコードには、各トラックの始まりと終わりの絶対的・相対的なタイムコード、UPC/EAN コード、作曲者や国名、制作年などの情報を含む(20)、エンファシス情報、コピー保護(CP)などのデータがあり、これらのデータはマスタリングルームで入力される。

- (19) 1 : RとS 2 : QとW 3 : TとU 4 : PとQ
(20) 1 : IRSC 2 : ISRC 3 : RISC 4 : ICRC

問題 21～22 次の文の（ ）の部分に該当する適当な語句を1つ選び、番号で答えなさい。

放送の音声のデジタル化は1983年に始まったハイビジョンの実験放送から始まった。当時はサンプリング周波数が(21)であったことから「CDよりも高音質」をうたい文句に高音質をうたった番組が制作された。

その後、BS デジタル放送開始によって映像がデジタル化されると同時に、もはやリニアPCMによる伝送よりも、データ量をより多く伝送できる高圧縮な音声方式の導入が検討され、当時DVDや映画で先行していた(22)に対応できるような圧縮方式として、AACが採用されるようになった。

- (21) 1 : 16kHz 2 : 32kHz
 3 : 48kHz 4 : 96kHz
(22) 1 : 2.1 サラウンド 2 : 3.1 サラウンド
 3 : 4.1 サラウンド 4 : 5.1 サラウンド

問題 23～24 次の文の（ ）の部分に該当する適当な語句を1つ選び、番号で答えなさい。

モニタースピーカの配置方法など、マルチチャンネルにおける再生環境を明確に提示しているメディアは現状のところない。一方、DVD-Video、SACD、デジタル放送に関しては、ITU-R による推奨例に準拠、もしくはDVD-Video の再生環境に準拠といった記述が見受けられ、具体的な明示が避けられているのが現状である。ITU-R による配置法の概略は以下となる。

- ・ L, Rの開き角 (23)
- ・ LS, RS の設置角 (24) (ただし、センタースピーカからの角度)
- ・ L, C, Rの設置高 1.2m以上 (耳の高さ)

- (23) 1 : 45度 2 : 60度
 3 : 75度 4 : 90度
(24) 1 : 90度 2 : 150度
 3 : 75～120度 4 : 100～120度

問題 25 次の文の () の部分に該当する適切な語句を1つ選び、番号で答えなさい。

ハース効果は、同一音源を2つのスピーカから出す場合に、近い方のスピーカに定位を強く感じ取ってしまう現象で、(25) とも呼ばれる。

- (25) 1 : 「先行音効果」 2 : 「後続音効果」
 3 : 「ドップラー効果」 4 : 「ラウドネス効果」

IV

問題1 次の文に該当する音楽用語を1つ選び、番号で答えなさい。

音を短く切って次までに空間を作る技法。様々な楽器、歌唱にも使用できる。原意は分離した、という意味。

- | | |
|------------|-------------|
| 1 : ポルタメント | 2 : スタッカート |
| 3 : ダ・カーポ | 4 : ダル・セーニョ |

問題2 音楽用語で、ダル・セーニョとはどのような意味か、番号で答えなさい。

- 1 : 「頭から」という原意そのままの意味である。
- 2 : 「印の位置から」という意味で、スタジオでは多用される曲の進行に従って D.S 1、D.S 2 などいくつかの指示が一曲の中に表れることも多い。これらの記号と曲の進行を把握する能力は読譜力とは違った意味でも重要である。
- 3 : 原意は「停止」。この印が付いた音符や休符をどの程度延長するかは演奏者の主観に任されており、良く誤解されているが倍にするという指定ではない。
- 4 : 曲の終わり。譜面上の中間地点で曲が最終的に終わる場合に使われる。

問題3 次の文に該当する音楽用語を1つ選び、番号で答えなさい。

原意は「成長する、ひげや草などが伸びる、価格が高くなる」などの意味で、楽語としてはだんだん強くしていく、という意味である。

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 : クレッシェンド | 2 : フォルテ |
| 3 : アルコ | 4 : アクセント |

問題4 音楽奏法で、スフォルツァンドとはどのような意味か、番号で答えなさい。

- 1 : 大きな音で強く演奏するということだが原意は「体力がある、意志が強い、酒などが強い」などといった意味の言葉である。
- 2 : 原意は「強調する、言葉の訛り、語調」などの意味。音楽では強調するという意味で使われている。
- 3 : 「ある一音に突然に強いアクセントをつけて」、という意味。
- 4 : 強く弾いた後ただちに弱く。アタックを強調したい部分などで使われる用語。

問題5 次の文に該当する音楽用語を1つ選び、番号で答えなさい。

伴奏のない歌唱、合唱のことで原意は教会風に、ということであり当時の教会音楽がほとんど無伴奏だったことに由来する。

- 1 : ア・カペラ 2 : ユニゾン 3 : カノン 4 : フーガ

問題6 Tempo120で8分音符ひとつは何msecか、番号で答えなさい。

- 1 : 125msec 2 : 250msec 3 : 375msec 4 : 500msec

問題7 完全5度音程が上がると、周波数はどれだけ上がるか、番号で答えなさい。

- 1 : 約2倍上がる 2 : 約1.5倍上がる
3 : 約1.25倍上がる 4 : 約0.67倍上がる

問題8 音楽で使用される標準ピッチが440Hzの場合、オクターブ下の周波数は何Hzか、番号で答えなさい。

- 1 : 110Hz 2 : 220Hz 3 : 660Hz 4 : 880Hz

問題9 サックスで、最低音を最も低く演奏できる楽器はどれか、番号で答えなさい。

- 1 : ソプラノサックス 2 : アルトサックス
3 : テナーサックス 4 : バリトンサックス

問題10 次の項目から著作物ではないものを選び、番号で答えなさい。

- 1 : 脚本 2 : 音楽 3 : スローガン 4 : 写真

問題11 著作者の意に反し、Pro Tools等を使用して勝手に楽曲の内容を改変した場合、どのような権利の侵害となるか、次の項目から選び、番号で答えなさい。

- 1 : 同一性保持権 2 : 上映権
3 : 複製権 4 : 譲渡権

問題 12 次の項目から実演家の権利として認められている著作隣接権に該当しないものを選び、番号で答えなさい。

- | | |
|---------------|-------------|
| 1 : 複製権 | 2 : 録音権、録画権 |
| 3 : 放送権、有線放送権 | 4 : 譲渡権 |

問題 13 日本の著作権の保護については、著作者の死後一定期間を経過後、著作物を文化の発展に貢献させるために一般に開放することとしているが、この保護期間を過ぎた著作物を称する言葉を選び、番号で答えなさい。

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1 : 公有 | 2 : 共有 | 3 : 私有 | 4 : 国有 |
|--------|--------|--------|--------|

問題 14 音楽に関する著作権の制限規定として、営利を目的としない上演については自由利用を認められているが、次の項目で該当しないものを選び、番号で答えなさい。

- 1 : チャリティー・コンサート
- 2 : 学校の運動会での BGM
- 3 : 実演家も無料で演奏、入場料も無料の学校の文化祭
- 4 : 学校での教室における音楽教科の演奏

問題 15 著作隣接権の保護期間については、平成 14 年法改正によりレコードの保護期間の起算点が変更されている。この変更に伴い、1990 年 1 月 1 日にレコーディングされ、2000 年 1 月 1 日に最初に発売されたレコードの保護期間の満了日を選び、番号で答えなさい。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 : 2040 年 1 月 1 日 | 2 : 2050 年 1 月 1 日 |
| 3 : 2050 年 12 月 31 日 | 4 : 2040 年 12 月 31 日 |

問題 16～17 次の文の（ ）の部分に該当する適当な語句を 1 つ選び、番号で答えなさい。

レコーディングエンジニアは (16) と呼ばれ、レコーディングスタジオやコンサート会場で、マイクセッティングやレコーディング機器を操作する人を言う。音楽業界でエンジニアと言う場合、レコーディングエンジニアを指す場合が多い。レコーディングから (17) までの作業を行う。

- | | | |
|------|---------------|--------------|
| (16) | 1 : 録音技術者 | 2 : 映像技術者 |
| | 3 : オーサリング技術者 | 4 : アーカイブ技術者 |
| (17) | 1 : アーティスト発掘 | 2 : レコーディング |
| | 3 : ミックスダウン | 4 : プロモーション |

問題 18～19 次の文の () の部分に該当する適切な語句を1つ選び、番号で答えなさい。

レコーディングスタジオにおいて、(18) や DAW およびテープのオペレート、レコーディングエンジニアのサポートなどがアシスタントエンジニアの仕事である。セカンドエンジニアもしくは、(19) と言うこともある。

- | | | |
|------|-------------|---------------|
| (18) | 1 : 事前の料金交渉 | 2 : マイクセッティング |
| | 3 : ミックスダウン | 4 : マスタリング |
| (19) | 1 : キャリア | 2 : オペレータ |
| | 3 : パンチャ | 4 : キーパンチャ |

問題 20～21 次の文の () の部分に該当する適切な語句を1つ選び、番号で答えなさい。

SP レコードは、電気録音の導入で質的には格段と向上したが、演奏可能な時間は(20) が限度で、歌曲や小曲はレコード1面に録音できたが、ベートーヴェンの“第9交響曲”は16面にもなった。

1948年、(21) を使用した高密度化されたLPレコードがCBSから発売され、片面30分程度の記録が可能になって、“第9”も表裏1枚で収録できるようになったが、日本発売は1951年であった。

- | | | |
|------|--------------|---------------|
| (20) | 1 : 30秒程度 | 2 : 1～2分 |
| | 3 : 4～5分 | 4 : 10～20分 |
| (21) | 1 : アセテート系樹脂 | 2 : 塩化ビニール系樹脂 |
| | 3 : ワックス | 4 : ニス |

問題 22 次の文に該当する年代を1つ選び、番号で答えなさい。

モールス(米)電信機を発明。

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1 : 1807年 | 2 : 1817年 | 3 : 1827年 | 4 : 1837年 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|

問題 23 次の文に該当する年代を1つ選び、番号で答えなさい。

NHKの東京FM実験局が、FMステレオ放送の波を出す。

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1 : 1953年 | 2 : 1963年 | 3 : 1973年 | 4 : 1983年 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|

問題 24 次の文に該当する年代を 1 つ選び、番号で答えなさい。

モーグ (Moog・米) がアナログシンセサイザのベースになった「モーグ・シンセサイザ」を発表。

1 : 1955 年 2 : 1965 年 3 : 1975 年 4 : 1985 年

問題 25 次の文に該当する年代を 1 つ選び、番号で答えなさい。

CD の発売開始。

1 : 1982 年 2 : 1987 年 3 : 1992 年 4 : 1997 年

認定証の交付について

受験者全員に認定証カードおよび成績証明書を交付いたします。

交付は8月1日以降です

【団体受験の場合】一括で学校宛に送付します。

【個人受験の場合】直接ご本人に送付します。

認定証の内容

試験結果の認定証は受験者の合否を判定するものではなく、受験者の現在の能力的位置を判断することを基本としていますので、各自の正答数によりA～Eランクが認定されます。また各分野別の成績証明証も交付致します。

一般社団法人 日本音楽スタジオ協会 略称「JAPRS」

TEL : 03-3200-3650

e-mail : japrs@japrs.or.jp

URL : http://www.japrs.or.jp

この試験の模範解答は7月下旬からJAPRSホームページで御覧頂けます。